



韓国で口蹄疫が発生! 今一度、発生予防を徹底しましょう!



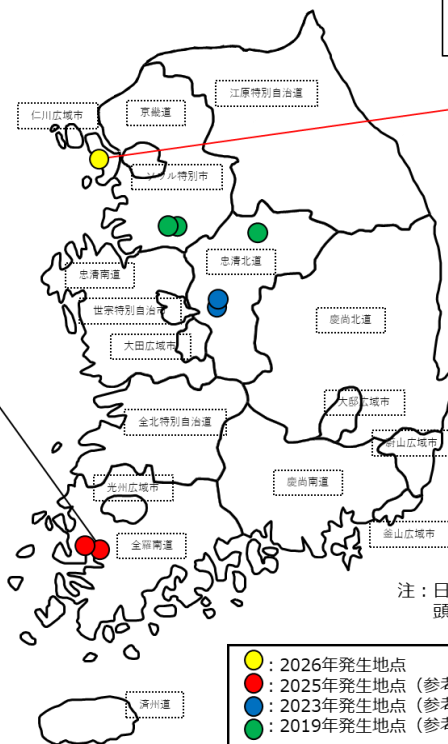
韓国で、2026年1月に9ヶ月ぶりに口蹄疫の発生が確認されました。現在、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

韓国における口蹄疫の発生報告状況 (2026年2月2日時点)

2026年2月2日時点
農林水産省動物衛生課

全羅南道 (19件)

- 2025年3月13日 (確定日は14日)
霊岩郡 牛: 1件 (O型)
- 2025年3月14日 (確定日は15日)
霊岩郡 牛: 3件 (O型)
- 2025年3月15日 (確定日は16日)
務安郡 牛: 1件 (O型)
- 2025年3月17日
霊岩郡 牛: 3件 (O型)
- 2025年3月18日
霊岩郡 牛: 2件 (O型)
- 2025年3月19日
霊岩郡 牛: 2件 (O型)
- 2025年3月20日
霊岩郡 牛: 1件 (O型)
- 2025年3月23日
霊岩郡 牛: 1件 (O型)
- 2025年4月10日
務安郡 豚: 2件 (O型)
- 2025年4月12日
務安郡 豚: 2件 (O型)
- 2025年4月13日
務安郡 豚: 1件 (O型)



注: 日付はWOAH報告の発生日
頭数は当該農場で飼養されている感受性動物数

- : 2026年発生地点
- : 2025年発生地点 (参考)
- : 2023年発生地点 (参考)
- : 2019年発生地点 (参考)

旧正月(令和8年2月17日)の時期は、人や物の動きが活発になることから、国内への口蹄疫等ウイルスの侵入リスクが高くなります。

発生予防対策の再徹底をお願いします!

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- 農場の出入り時は、**専用の靴・衣服を着用し、手指を消毒**するとともに、持ち込む**物品**や**出入りする車両の消毒を徹底**しましょう。
- 畜舎の出入口に**専用の靴の着用や踏込消毒槽等を設置**することにより、出入りする人の**靴底の消毒を徹底**しましょう。
- 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、**これらの国からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まないように**しましょう。
- 毎日、飼養家畜の健康観察**を行い、**疑わしい症状があれば直ぐに通報**しましょう。



裏面も
チェック!



専用の衣服・靴等の着用や効果的な消毒を実施しましょう！

- ・ 衛生管理区域に立ち入る場合には、**専用の靴や衣服**を着用し、**手指消毒**を実施しましょう。
- ・ 畜舎ごとに**専用の靴または踏込消毒**を設置し、使用しましょう。



専用の服や靴の使用、手指消毒

◎効果的な消毒のポイント

- ・ 踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れるので、**まずは汚れを落としてから消毒**しましょう。また、**消毒薬が汚れていたら、直ちに交換**しましょう。
- ・ 農場に出入りする車両を消毒する時は、**タイヤのみを消毒**するのではなく、**泥よけの内側部分まで消毒**し、衛生管理区域内で降車する場合は**農場専用のフロアマット**等の使用や**車内（ハンドルやドアノブ等）の消毒**を実施しましょう。



推奨される踏込消毒槽の設置方法！

② 消毒液の槽

① 水洗の槽



汚れをしっかりと落としてから消毒！



車両はタイヤだけでなく、**泥よけの内側まで消毒**し、**フロアマットの交換**や**ペダル等車内も消毒**

《要注意》

- ★ **逆性石けんやアルコールは口蹄疫の消毒薬としては不適**です！
- ★ 消毒効果が弱まるので、**酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しないこと**！

疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛、山羊、羊などで発熱や食欲不振に始まり、**泡状のよだれ**を流したり、**口、鼻、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

参考 ～牛の症状～



症状：口周囲、蹄、乳頭等に水疱を形成



泡状のよだれ



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている

写真：宮崎県提供

写真：動物衛生研究部門提供

毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や**最寄りの家畜保健衛生所に連絡**しましょう。

千葉県西部家畜保健衛生所 TEL 043-250-4141 FAX 043-286-0090

※口蹄疫等の早期対応のため、疑わしい症状があれば速やかに連絡してください。

※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください。

電子指示書システム運用開始のお知らせ

2025年4月から、獣医師が発行した指示書を電子で受け取ることができる電子指示書システムの運用が始まりました。

農場ごとの医薬品処方量を可視化(※1)することで薬剤耐性菌をはじめとする疾病対策にも有用です。是非ご利用ください。

※1 指示書により処方・投薬された医薬品に限る

利用料無料※2

※2 通信料は個人負担となります



電子指示書作成画面



使用記録登録画面



指示書分析画面



獣医師



診療・指示書発行

生産者



指示書の確認

販売店



指示書に基づき動物用医薬品を販売

指示書を電子化して投薬業務を効率化！

電子指示書による指示書の発行が可能かは、かかりつけの獣医師にご相談ください。

ご不明点は、飼養衛生ポータルコールセンターまでお問い合わせください。

電話:050-3501-7060

受付時間:平日09時30分~17時30分(土日祝日及び年末年始を除く)

担当:農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課
薬剤耐性対策班 03-3502-8097

電子指示書システムの利用申請
をお考えの方はこちら→

農林水産省HP
(<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/vmed-record.html>)

